



通気弁

AV-1型/AV-1C型 (ミニベント)

AV-2C型 (マキシベント)

トラップ内蔵通気弁

AV-3型 (コンビサイホンプラス)



排水用正圧緩和器

DHA-1型

通気弁

で排水管設備の簡略化・設備費を削減。



Mini-Vent™

AV-1型(コネクタ無)
AV-1C型(コネクタ付属)



Maxi-Vent™

AV-2C型(コネクタ付属)



Combi-Siphon plus

AV-3型

正圧緩和器

で排水管内に発生する正圧を緩和。



DHA-1型

P.A.P.A.™

通気弁と併用する事で、排水管内で起こる正圧・負圧による問題を解消できます。

通気弁の特徴

その① 害虫の侵入をシャットアウト。

通気部に防虫網を内蔵しているため、害虫の侵入がありません。

その② メンテナンス不要 排水設備同等の耐久性。

弁開閉の繰返しが密封性能に影響を与えることはありません。

150万回の作動に耐えられる事を確認していると共に、全品完成個別検査後の合格品が出荷されます。

その③ あふれ縁より下に取付け可能で、-20~60℃の気温に対応。




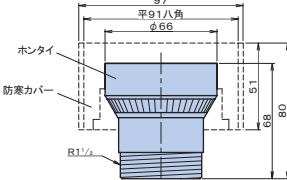
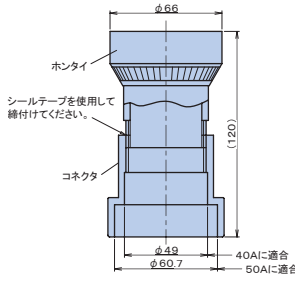
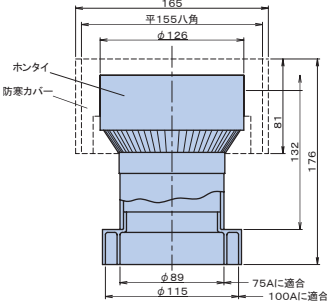
欧州規格(EN12380:2003-3)によりAIクラスを取得。

A:あふれ縁より下に取付可能。 I:-20~60℃の場所に設置可能。

その④ 世界中で130万個/年の実績。

ヨーロッパ各国、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリア等世界中で絶大なる実績があります。

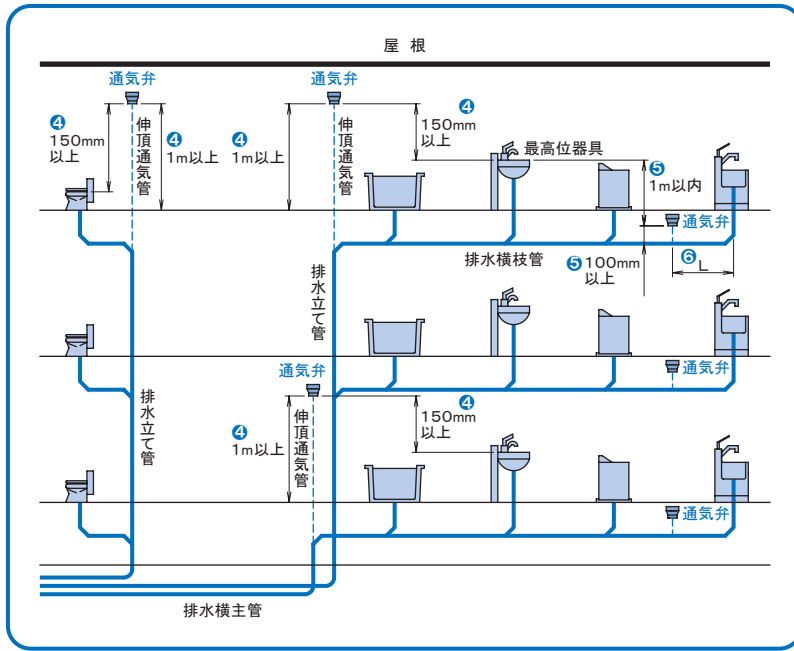
通気弁 AV-1型 / AV-1C型 / AV-2C型

型式	AV-1	AV-1C	AV-2C
外観	Mini-Vent™ 	ミニベント 	Maxi-Vent™ マキシベント 
呼び径	40		75
適用管	鋼管、铸铁管など	JIS K 6741 硬質塩化ビニル管 (VP・VU管)	
適用管径	40	40、50	65*、75、100
適用周囲温度	-20~60℃		
取付姿勢	垂直取付		
端接続	JIS R11/2ねじ	差し込み接着	
材質	本体 (ABS樹脂)、弁体 (ABS樹脂+合成ゴム)		
付属品	防寒カバー	<ul style="list-style-type: none"> ●防寒カバー ●接続用コネクタ (JIS K 6741 VP・VU管 呼び径40、50共用 接着継手) 	<ul style="list-style-type: none"> ●防寒カバー ●接続用コネクタ (JIS K 6741 VP・VU管 呼び径75、100共用 接着継手)
寸法図			

注. 屋外設置用の屋外カバー付も製作しています。

* 呼び径65の接続には市販の75×65のインクリューザーを使用してください。

設置場所



- 1 設置場所は、空気が十分流入可能であり、保守点検の容易な場所に取り付けてください。やむを得ず密閉度が高く容積の小さいパイプシャフトなどに設置する場合は、通気管断面積の2倍以上の通気口を設けてください。
【例】屋根裏、配管シャフト、天井裏、壁面吸気スペース、流し台や洗面台の下、トイレなど。
- 2 天井裏やパイプシャフトなどの隠蔽部に設置する場合は、必ず点検口を設けてください。
- 3 付属の防寒カバーは必ず装着したままご使用ください。
- 4 伸長通気管頂部に取付ける場合は、最上階の床面から1m以上、かつ最上階にある最高位の排水器具のあふれ縁から150mm以上、上方に取り付けてください。
- 5 排水横枝管に取付ける場合は、排水器具のあふれ縁から下方に1m以内、排水横枝管から100mm以上、上方に取り付けてください。

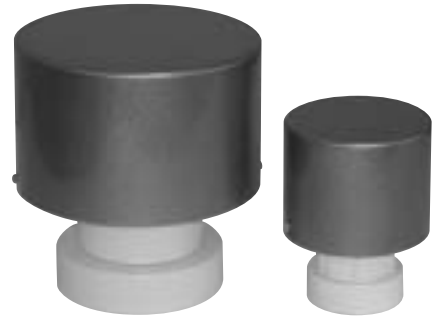
- 6 排水横枝管に複数の器具排水が合流する場合、最上流の器具排水管が排水横枝管に接続される直後の位置へ右表の距離(L)の範囲内で取付けてください。

●トラップから通気弁取付位置までの距離:L

排水管の呼び径	距離:L(mm)
30	60~800
40	80~1,000
50	100~1,500
75	150~1,800
100	200~3,000

注: 自己サイホン作用を防止するには、トラップから300mm以内に取り付けてください。

- 7 天井裏などに取付ける場合は、建材の断熱材などから150mm以上離して取付けてください。
- 8 排水横枝管の長さが3mを超える場合は、3m毎に取り付けてください。
- 9 高層・超高層ビルの場合は、10階毎に取り付けてください。
- 10 排水横主に複数の排水立て管が合流する場合、最下流の排水立て管は大気開放とし、1本の排水横主に合流する排水立て管の数は、10本を上限としてください。
- 11 屋外に通気弁を設置する場合は、屋外カバー付(オプション)をご使用ください。
- 12 通気弁は排水管内の正圧を緩和する目的のための逃し通気管には使用しないでください。
- 13 取付けはメンテナンスを考慮し、場所、スペースに配慮ください。



屋外に通気弁を設置する場合は、屋外カバー付(オプション)をご使用ください。

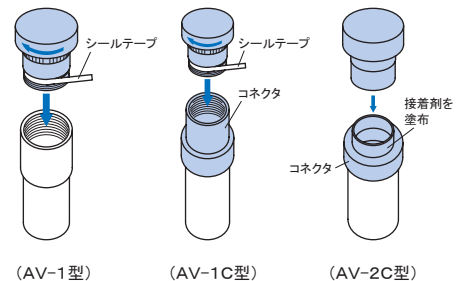
取付方法

鋼管: シールテープをねじ部に巻き、手で締付けてください。(AV-1型)

塩ビ管: コネクタ付属形は、付属のコネクタに塩ビ管用の接着剤を塗布し、パイプにコネクタを取付けてから、AV-1C型はシールテープを巻いて手で締付けてください。AV-2C型はコネクタに塩ビ管用の接着剤を塗布して取付けてください。

- 塩ビ管用の接着剤は、空気漏れのない様、管の接続部全周と側面にむらなく塗布して確実に取付けてください。
- 塩ビ管の切断面は、軸方向と直角になる様切断してください。

●鋼管への取付 ●塩ビ管への取付



防寒カバー取付要領

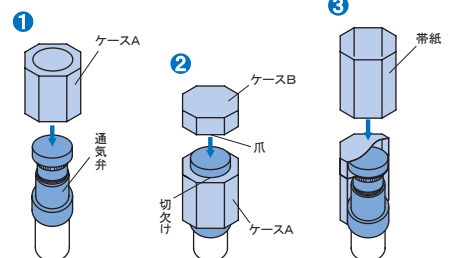
●AV-1C型

- 1 通気弁設置後、ケースAの開いた穴に通気弁の上部を通します。
- 2 ケースBをかぶせ、ケースBの爪をケースAの切欠けにはめ込みます。
- 3 帯紙をケースA・Bにはめ込みます。

●AV-1型、AV-2型

付属の発泡スチロール製梱包材の「キャップ」を通気弁の上からかぶせます。

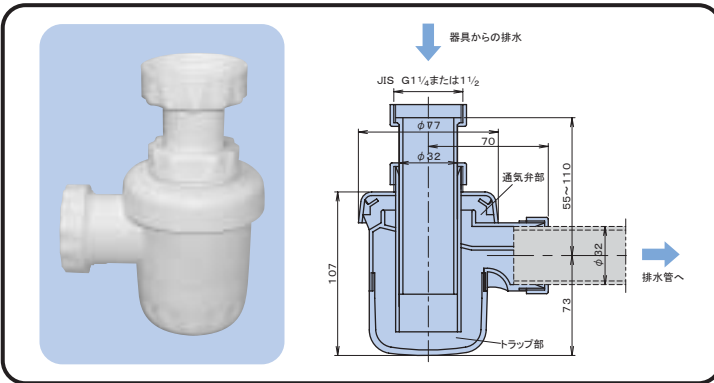
AV-1C型防寒カバー取付要領



トラップ内蔵通気弁 AV-3型

コンビサイホンプラスは通気弁とトラップの機能を一体にしたものです。

●外観・寸法図

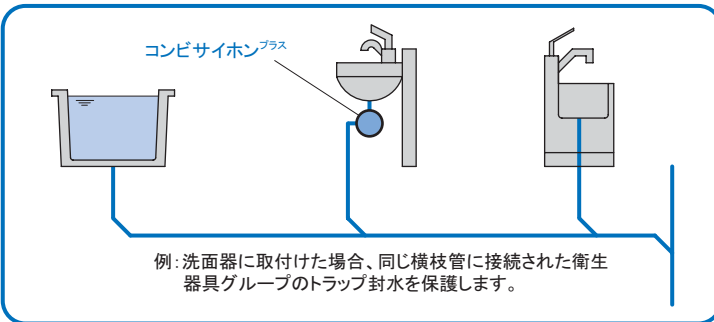


●仕様

型式	AV-3
呼び径	32、40
端接続	ユニオン継手
取付姿勢	垂直取付
材質	本体(ABS樹脂)、弁体(合成ゴム)



コンビサイホンプラスは、密閉していない点検可能な場所に垂直に取付けます。既設トラップと置きかえ通気を確保できます。



Combi-Siphon plus

取付方法

●入口側の接続

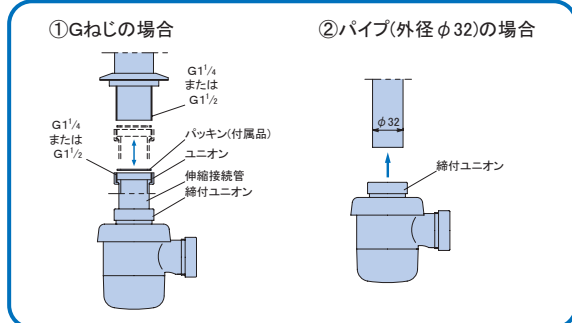
①Gねじの場合

ユニオンにパッキンを挟んで排水管にねじ込み、接続します。締付ユニオンを緩めて、伸縮接続管にて位置を決定後、締付ユニオンを締付けます。

②パイプ(外径φ32)の場合

締付ユニオンを緩めて伸縮接続管を外し、排水側のパイプを本体に直接挿入して位置を決定後、締付ユニオンを締付けます。

●入口側の接続



●出口側の接続

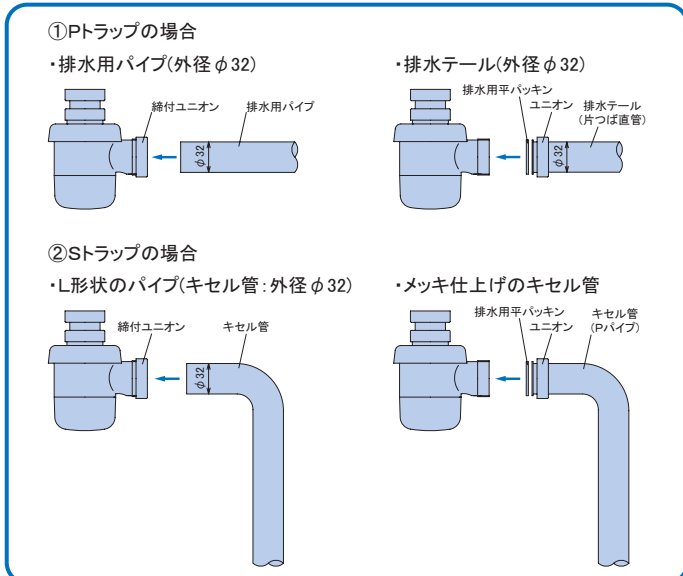
①PTラップの場合

- 排水用パイプ(外径φ32)
出口側に排水用パイプを挿入し、締付ユニオンを締付けます。
- 排水テール(外径φ32)
出口側の締付ユニオンを外して排水テールに組み込み、排水用平パッキンを挟んで締付けます。

②Sトラップの場合

- L形状のパイプ(キセル管: 外径φ32)
出口側にL形状のパイプを挿入し、締付ユニオンを締付けます。
- メッキ仕上げのキセル管(外径φ32)
出口側の締付ユニオンを外してキセル管に組み込み、排水用平パッキンを挟んで締付けます。

●出口側の接続



キセル管取付けの例

排水用正圧緩和器の特徴

P.A.P.A.™

その① 通気弁と組合せ、正圧・負圧を解消。

独自の設計により、10階以上の建物の排水管内で発生する正圧を緩和します。最大4基まで連結でき、大きな正圧にも対処できます。又、通気弁(マキシベント)を組合せることにより、正圧・負圧を解消できます。

その② 通気配管が単純化でき、工期・工費が削減。

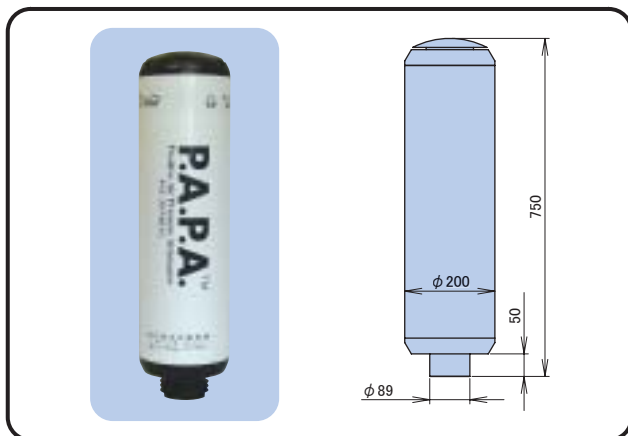
通気弁との組合せにより正圧・負圧に対処できますので、複雑な通気配管を大幅に削減できます。

その③ メンテナンス不要・取扱い容易。

機械的装置がないためメンテナンスは不要です。軽量で扱い易く、水平にも取付けできますので、床下などにも設置可能です。問題を抱えている建物での排水システムの改善ができます。

排水用正圧緩和器 DHA-1型

●外観・寸法図



●仕様

型式	DHA-1
用途	排水管内に突発的に発生する正圧の緩和
呼び径	75
適用流体	空気
端接続	硬質塩化ビニル管に差込接着、または、MDジョイント(排水鋼管用可とう継手)による圧着接続(接続部は硬質塩化ビニル管(VP・VU管)呼び径75の外径に同等)
取付姿勢	垂直または、水平(通気弁を併設する時は垂直のみ)
適用圧力	10kPa以下
材質	合成樹脂、合成ゴム

使用例

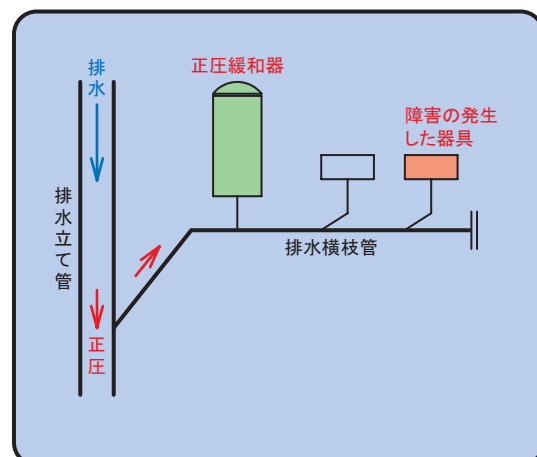
①正圧による噴き出し障害対策

排水管内には、排水の流れにより負圧と正圧が発生します。負圧には通気弁を、正圧には正圧緩和器を使用することにより、排水内に発生する負圧と正圧への対策を図ることができます。

右図のように排水立て管内を排水が流れることにより、正圧が発生します。この正圧が排水横枝管に流入することで、噴き出しなど封水への障害が起こることがあります。

このような場合には、障害の発生した器具が設置された排水横枝管と排水立て管との合流部の近くに正圧緩和器を設置します。

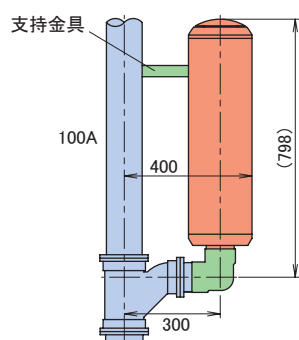
正圧緩和器は排水立て管から排水横枝管に流入する正圧を緩和し、トラップの破封や器具からの噴き出しなどの障害を緩和します。



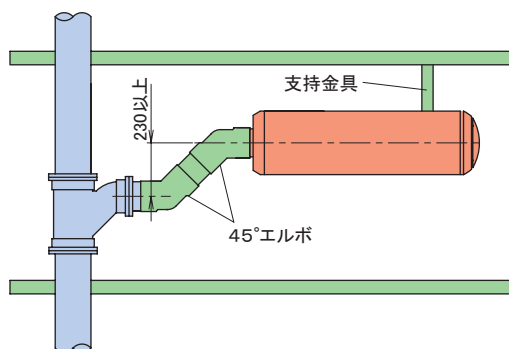
注. 排水管の詰まりなどにより徐々に上昇する圧力に対しては、正圧緩和器は適用できません。

取付・取扱い上のポイント

- 通気弁併用時は鉛直から5°以内の垂直に取付けてください。
- 硬質塩化ビニル管用継手または排水管用可とう継手を使用して設置してください。また、本体を支持金具等で支持してください。
- 本体を水平に取付ける場合は45°エルボを2個使用して設置してください。また、本体内に排水が流入しないように、取り出し配管から230mm以上、上方に設置してください。



垂直設置例



水平設置例

使用例



**通気弁で排水管設備の簡略化・設備費を削減。
正圧緩和器で排水管内に発生する正圧を緩和。**



注意

- 用途にあった商品をお選びください。不適切な用途で使われますと事故の原因になることがあります。
- ご使用前に取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。取扱いを誤りますと故障や事故の原因になります。
- このカタログの記載内容は予告なしに変更することがあります。

このカタログの記載内容は平成17年1月現在のものです。



流れ・ビューティフル

株式
会社



本社 〒146-0095

東京都大田区多摩川2-2-13
TEL.03(3759)0170 FAX.03(3759)1414
URL:http://www.venn.co.jp

東日本営業部

☆東京営業所 ☎03(3759)0171
☆神奈川営業所 ☎03(3759)0171
☆西関東営業所 ☎042(772)8531
☆東関東営業所 ☎043(242)0171
☆北関東営業所 ☎048(663)8141
☆関東営業所 ☎027(252)4248
新潟出張所 ☎025(259)8750

☆仙台営業所 ☎022(293)7631
いわき出張所 ☎0246(36)7557
☆盛岡営業所 ☎019(697)7651
☆札幌営業所 ☎011(513)0141
西日本営業部
☆大阪営業所 ☎06(6325)1501
☆名古屋営業所 ☎052(411)5840
静岡出張所 ☎054(286)8945

☆金沢営業所 ☎076(261)6989
☆広島営業所 ☎082(230)4511
☆福岡営業所 ☎092(291)2929

ISO9001
認証工場



05, 01, 1ZA-H